

印西牧の原駅圏に 今後求められる公共施設の整備について 市民意見募集及び対話会の結果

印西市 企画財政部 企画政策課 公共施設整備推進室

令和8年1月

目次

I .市民意見募集の結果	p 3
II .対話会(ワークショップ)の結果	p 31
III .市民意見募集及び対話会の結果(総括).....	p 45

I .市民意見募集の結果



実施概要

期間	令和7年10月17日(金)から11月30日(日)まで
告知方法	広報いんざい(11月号)、市HP、市公式SNS(X、LINE)
対象	市内在住者
回答方法	ちば電子申請サービスによる「電子回答」
目的	幅広く市民の皆様のご意見を募集し、市民ニーズと市が考える複合施設の構想案が一致しているかを確認し、改善が必要な点を把握する。

設問概要

1.あなたについて 教えてください	1-1	年代について	選択式 (一部記述)
	1-2	住まいの地域の郵便番号について	
	1-3	家族構成について	
2.現在の公共施設の 利用状況について	2-1	利用したことがある施設について	
	2-2	利用頻度について	
	2-3	利用しない理由について	
3.複合施設に求める 機能について	3-1	複合施設にあったら良いと思う機能について	自由記述
	3-2	利用したい時間帯について	
4.その他のご意見・ ご要望	4-1	印西牧の原周辺のまちづくりや施設整備に関しの自由意見について	
	4-2	別紙の構想案に関しての自由意見について	

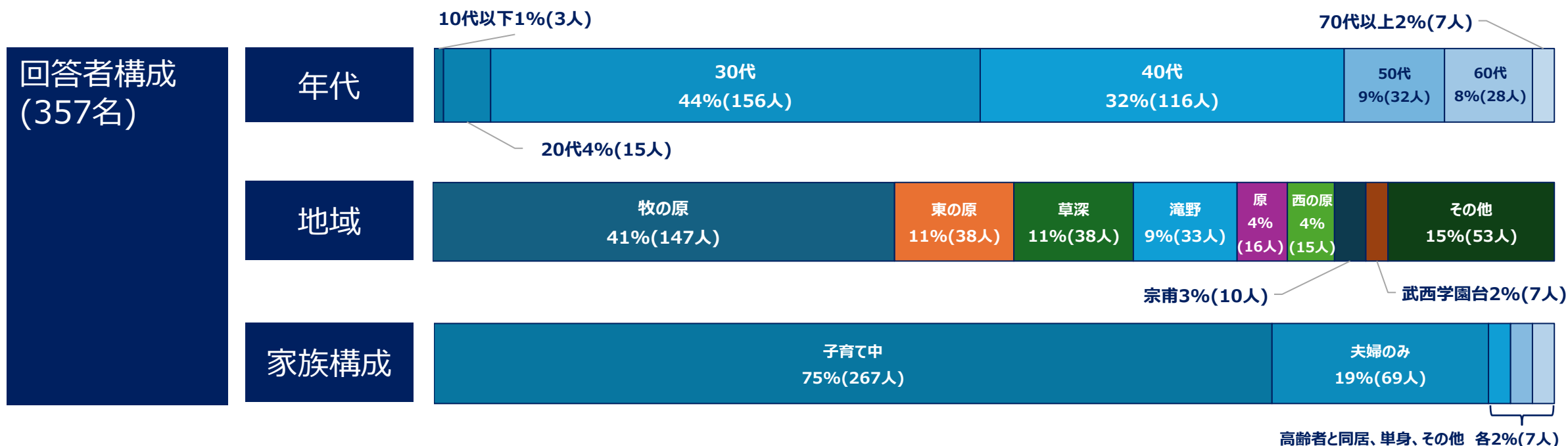
1.あなたについて 教えてください



1.あなたについて教えてください

1-1.年代、1-2.お住まい、1-3.家族構成

- 今回の市民意見募集では、印西牧の原駅圏にお住いの30代、40代の方々から多くの意見をお寄せいただきました。
 - ・ 年代別にみると、30代、40代の現役世代が76%を占めています。
 - ・ 地域別にみると、印西牧の原駅圏内の方々が80%を占めています。
 - ・ 家族構成別にみると、子育て中の方々が75%を占めています。



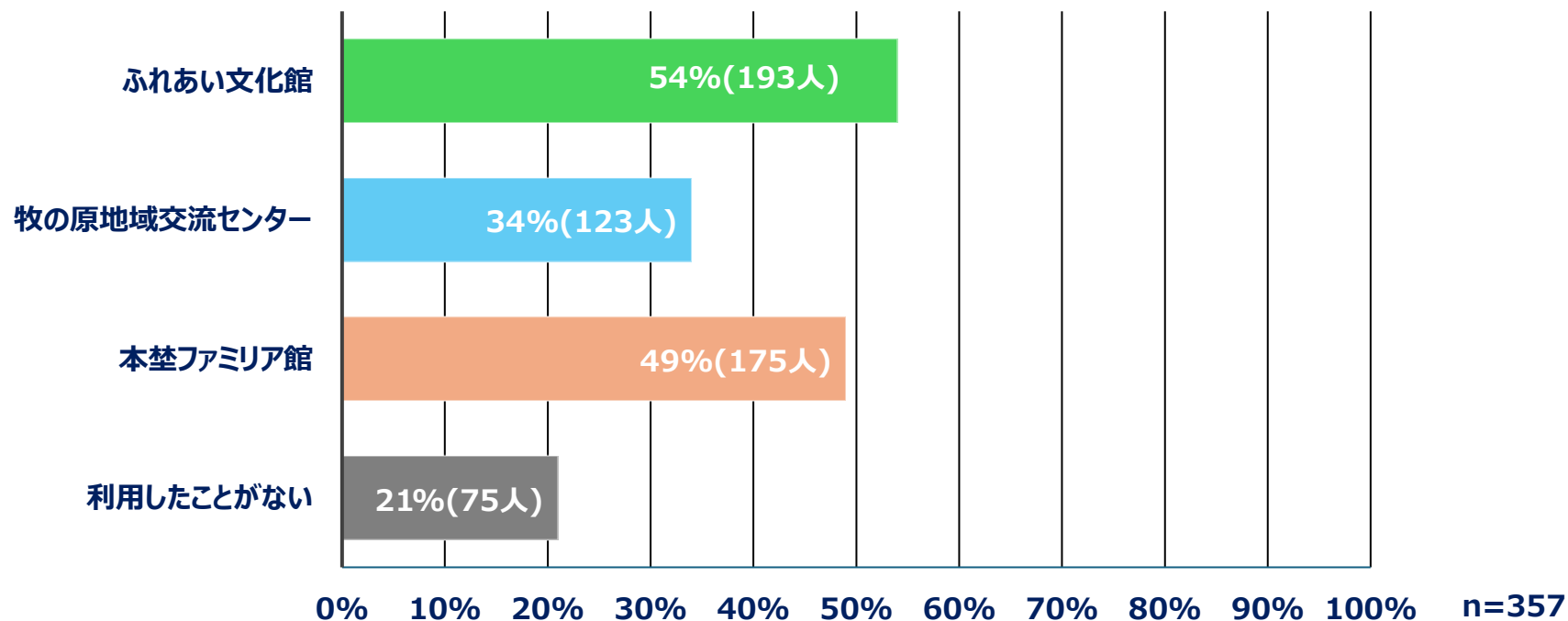
2.現在の公共施設の 利用状況について



2-1.利用したことがある施設（複数選択可）

- 回答者のうち、いずれの施設も利用したことがない方は21%で、残りの79%の方は施設を利用したことがあります。
- 利用したことがある施設の中では「ふれあい文化館」の利用率が最も多くなっています(54%)。

利用したことがある施設の利用率



2-1.施設を利用しない理由

- 利用者のニーズに合った施設やサービスが不足しており、利便性や魅力を感じられないというご意見が下記のとおり寄せられました。

◆いただいた主なご意見

「用事がない」

- ・“利用したい施設がないため”（草深 30代 子育て中）
- ・“残念ながら、40代の夫婦(子なし)にとっては利用したくなる施設がないので。”（木刈 40代 夫婦のみ）
- ・“存在を知らなかった。必要な機能がないため利用してこなかった。”（牧の原 30代 子育て中）

「どんな施設かわからない」

- ・“どのようなサービスがあるか分からないため”（小林大門下 60代 夫婦のみ）
- ・“何をする施設か、どのような人が対象か分からない”（牧の原 30代 子育て中）

「雰囲気、居心地がよくない」

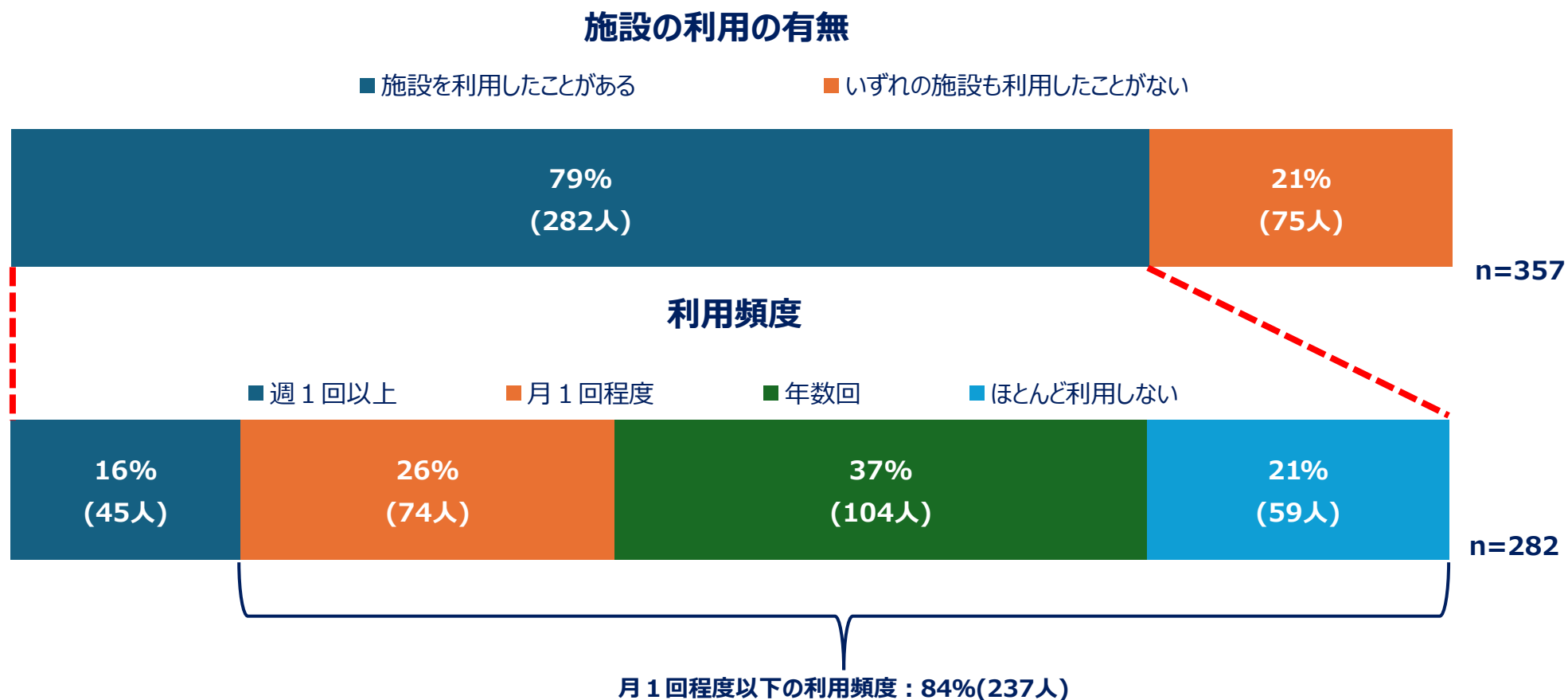
- ・“魅力的なイベントがなかったので、利用する機会がなかった”（牧の原 40代 子育て中）
- ・“魅力を感じないから”（宗甫 20代 子育て中）
- ・“こどもを連れていっても楽しめないから”（牧の原 40代 子育て中）
- ・“ファミリー層が多そう、子供向けのエリア、子供優先のエリアが殆どなのかなと思い行きにくいところがあります。”（草深 30代 夫婦のみ）

その他

- ・“子供が小さく、行くだけで苦勞するので、まだ利用したことがない。今後、ふれあい文化館にある図書館を子供の教育の為に、利用したいと思っている。”（東の原 30代 子育て中）
- ・“平日働いており、時間内に訪れることが難しい。”（大塚 50代 夫婦のみ）
- ・“駐車場が狭い”（西の原 50代 子育て中）

2-2. 利用頻度はどのくらいですか？

- 施設を利用したことがあると回答された方のうち、84%が月1回程度以下の利用となっています。

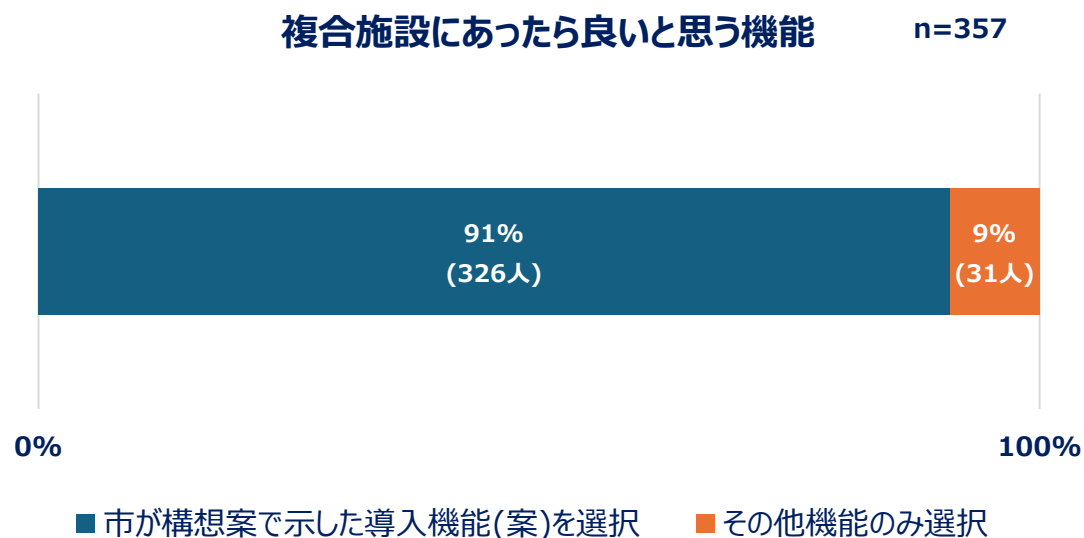


3. 複合施設に 求める機能について



3-1. あなたが複合施設にあったら良いと思う機能

- 回答のうち、市が構想案で示した導入機能(案)の全部または一部を選択した方は9割を超えています。



市が構想案で示した導入機能（案）

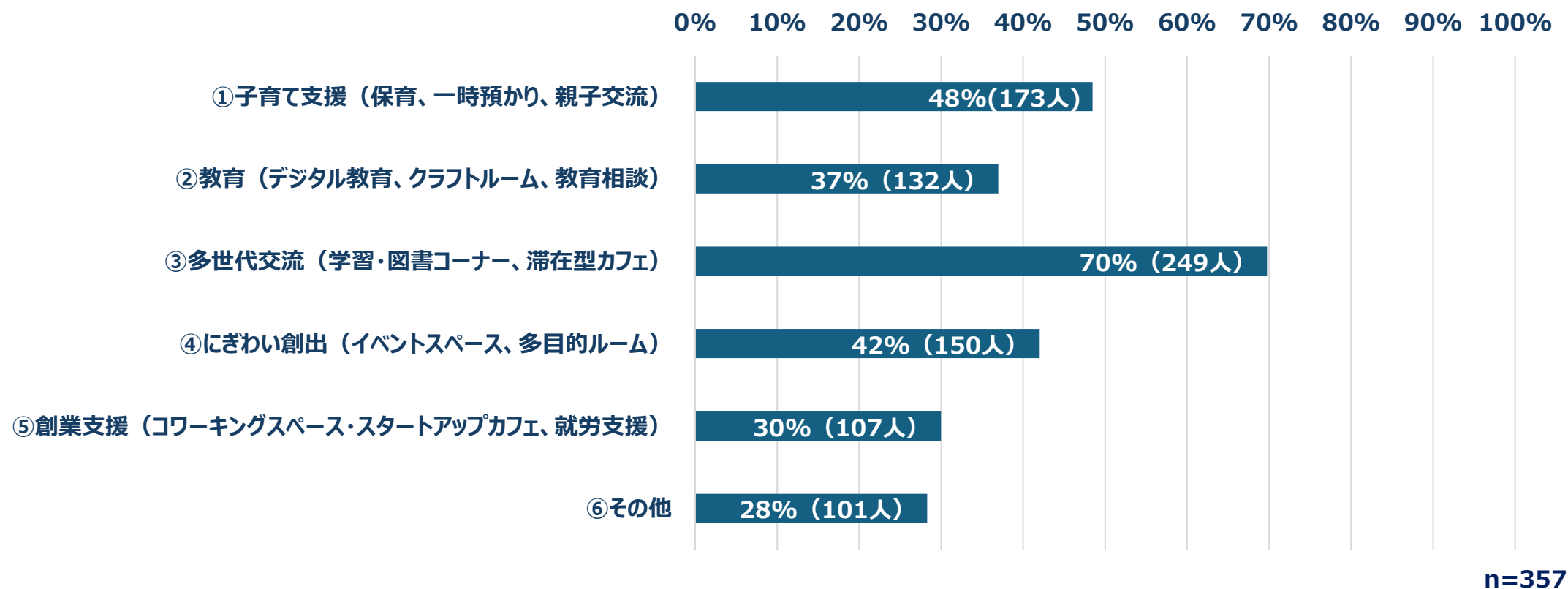
- 子育て支援……子育て世代が集う場
- 教育……教育と親和性の高い施設、教育支援
- 多世代交流……子育て世代からシニア世代までの世代間交流施設、児童や若者を中心に幅広い年齢層が集う場
- にぎわいの創出…コミュニティ活性化拠点
- 創業支援……新たな産業創出の場

※構想案などの詳細は市HPでご確認ください。⇒ <https://www.city.inzai.lg.jp/0000020584.html>



3-1. 複合施設にあったら良いと思う機能(複数選択可) : 全体像

- 回答のうち、市が構想案で示した導入機能(案)別にみると、「多世代交流」の割合が最も多く、次いで「子育て支援」、「にぎわい創出」の順となっています。

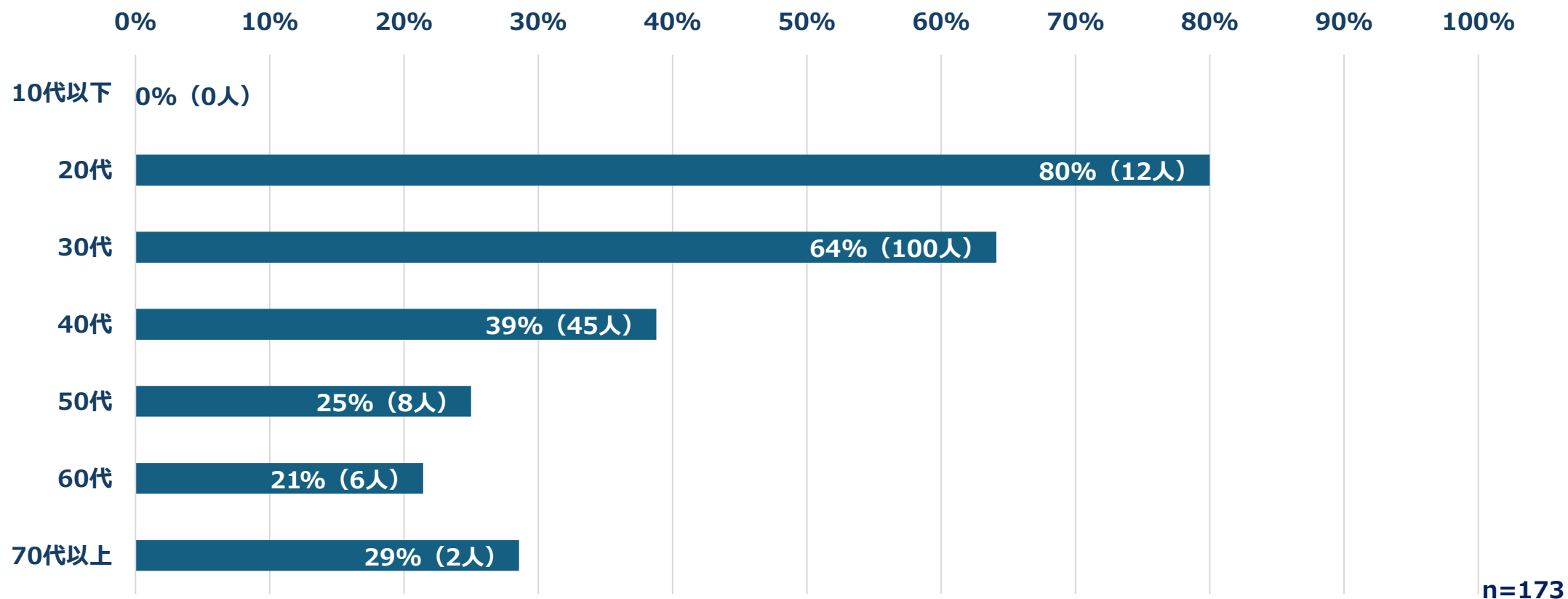


※⑥その他としては、スポーツ施設[体育館、トレーニングジム等](24人)、カフェ(12人)、温浴施設(10人)、公園(10人)、プール(9人)等が寄せられた。

3-1. 複合施設にあったら良いと思う機能(複数選択可)

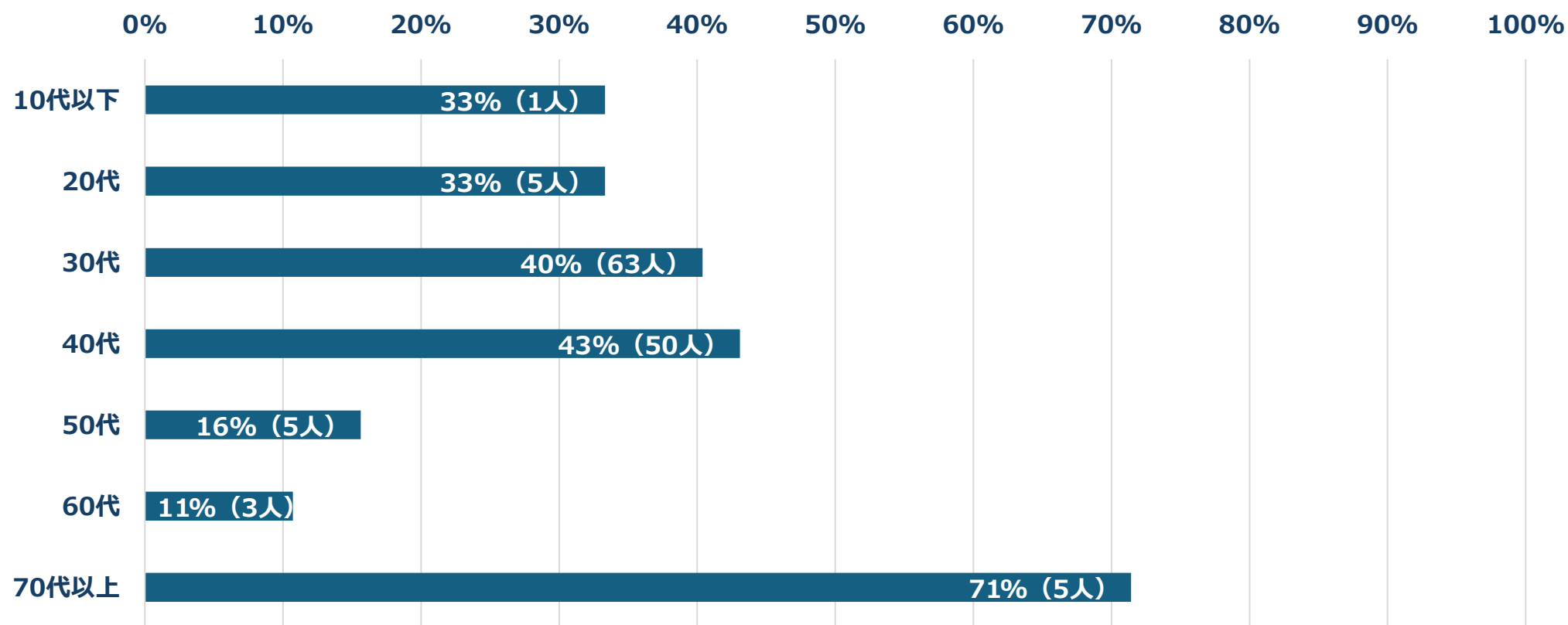
: ①子育て支援

- 「子育て支援(保育、一時預かり、親子交流)」については、年代別にみると、20代の割合が最も多く、次いで30代、40代の順となっています。



3-1. 複合施設にあったら良いと思う機能(複数選択可) ：②教育

- 「教育(デジタル教育、クラフトルーム、教育相談)」については、年代別にみると、70代以上の割合が最も多く、次いで40代、30代の順となっています。

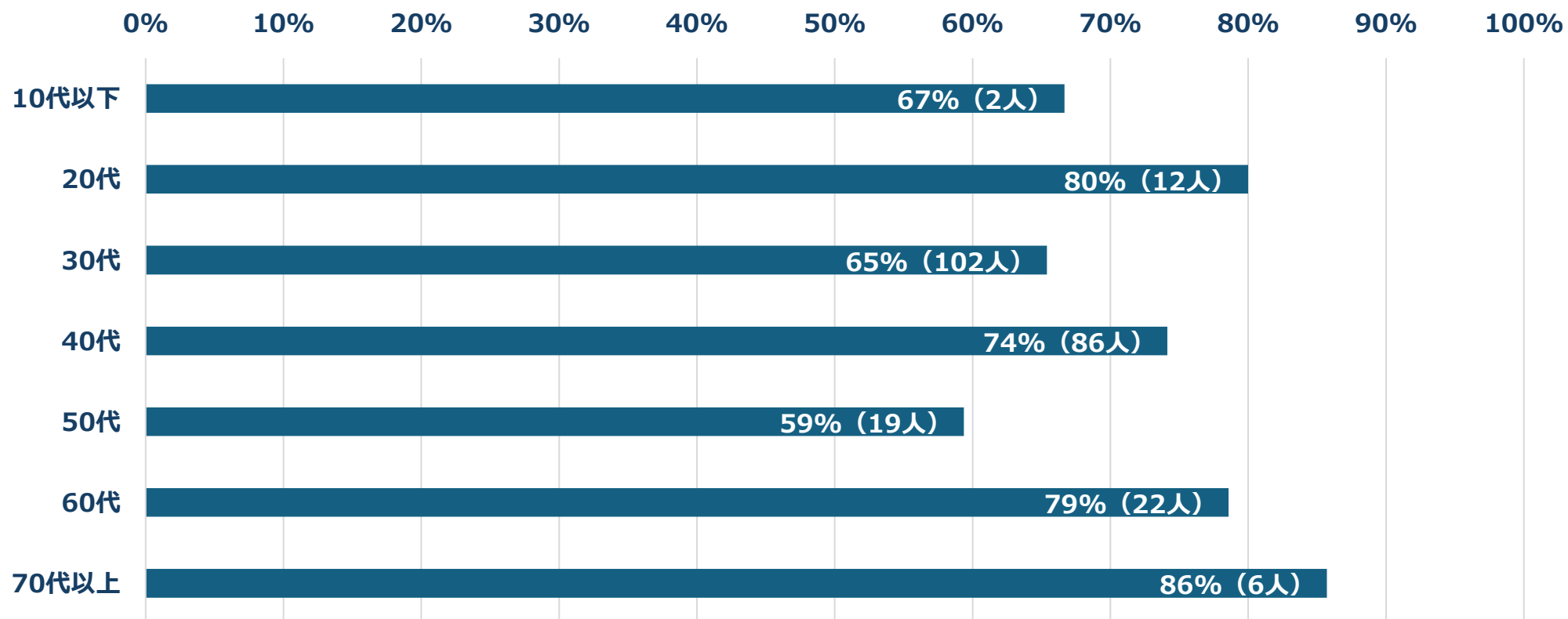


n=132

3-1. 複合施設にあったら良いと思う機能(複数選択可)

: ③多世代交流

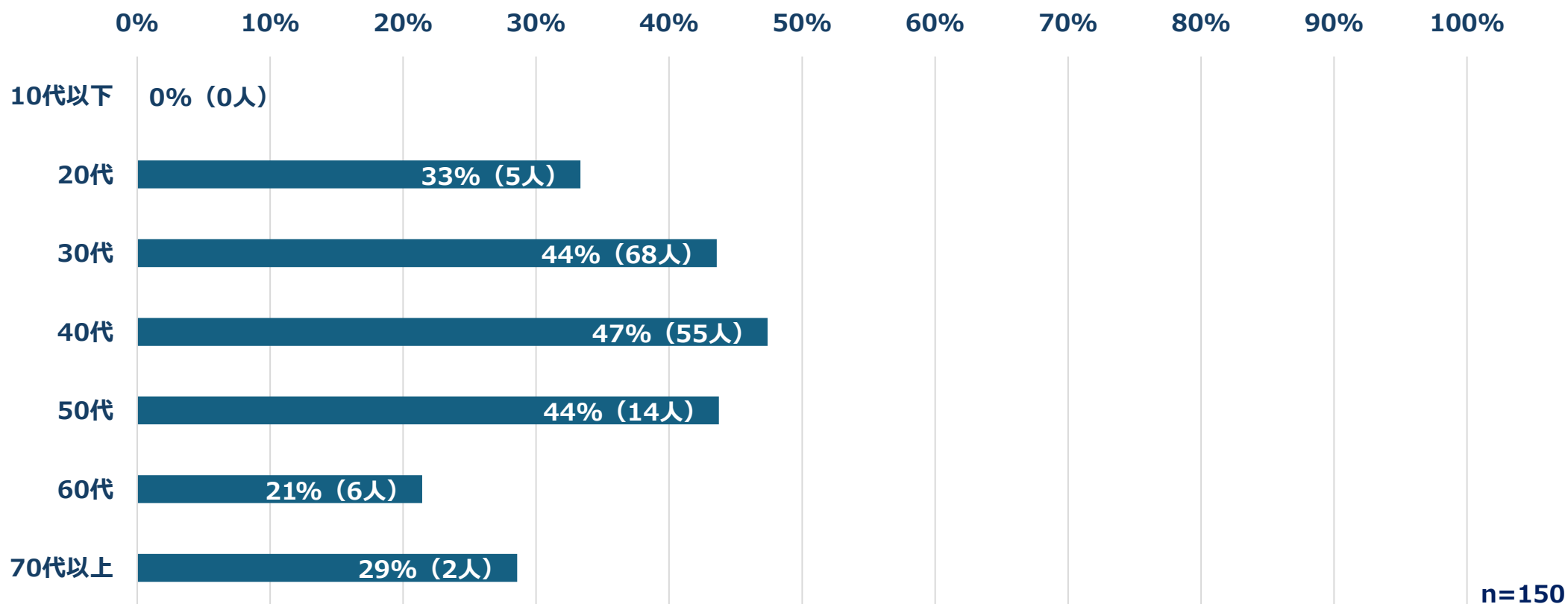
- 「多世代交流(学習・図書コーナー、滞在型カフェ)」については、年代別にみると、全ての年代の割合が多くなっています。



n=249

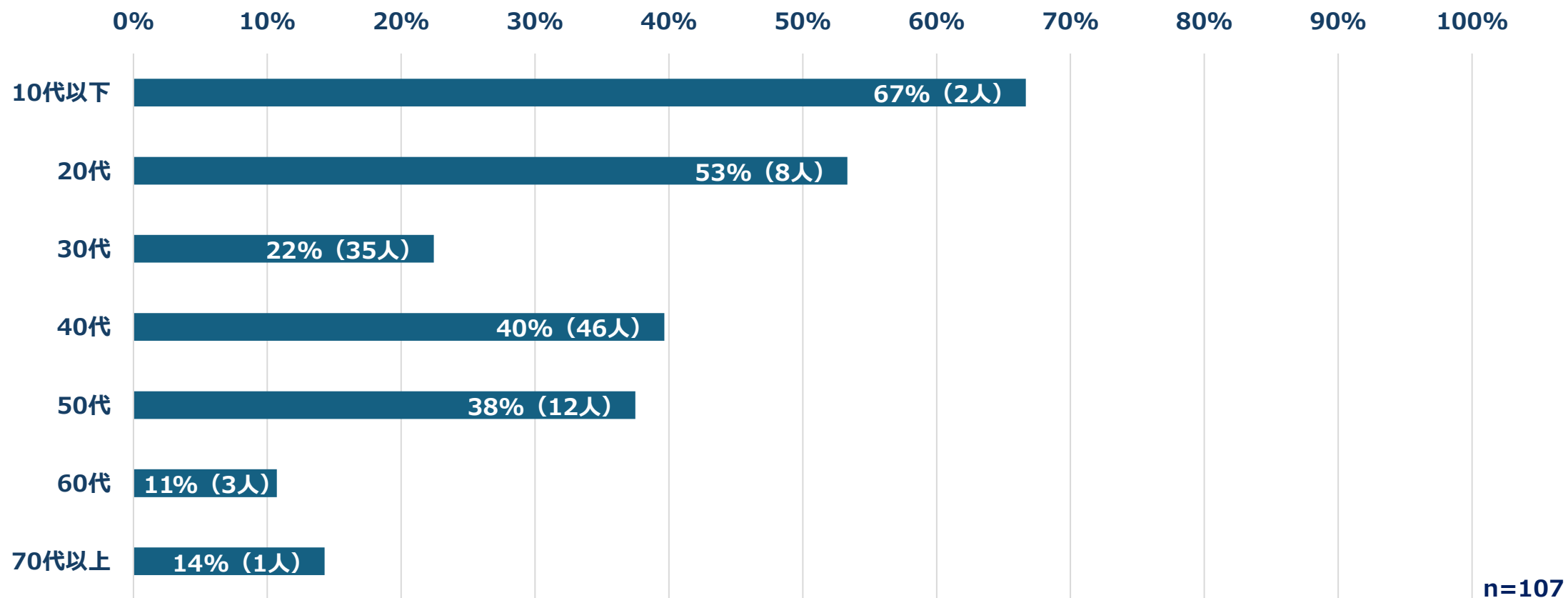
3-1. 複合施設にあったら良いと思う機能(複数選択可) ：④にぎわい創出

- 「にぎわい創出(イベントスペース、多目的ルーム)」については、年代別にみると、40代の割合が最も多く、次いで30代、50代の順となっています。



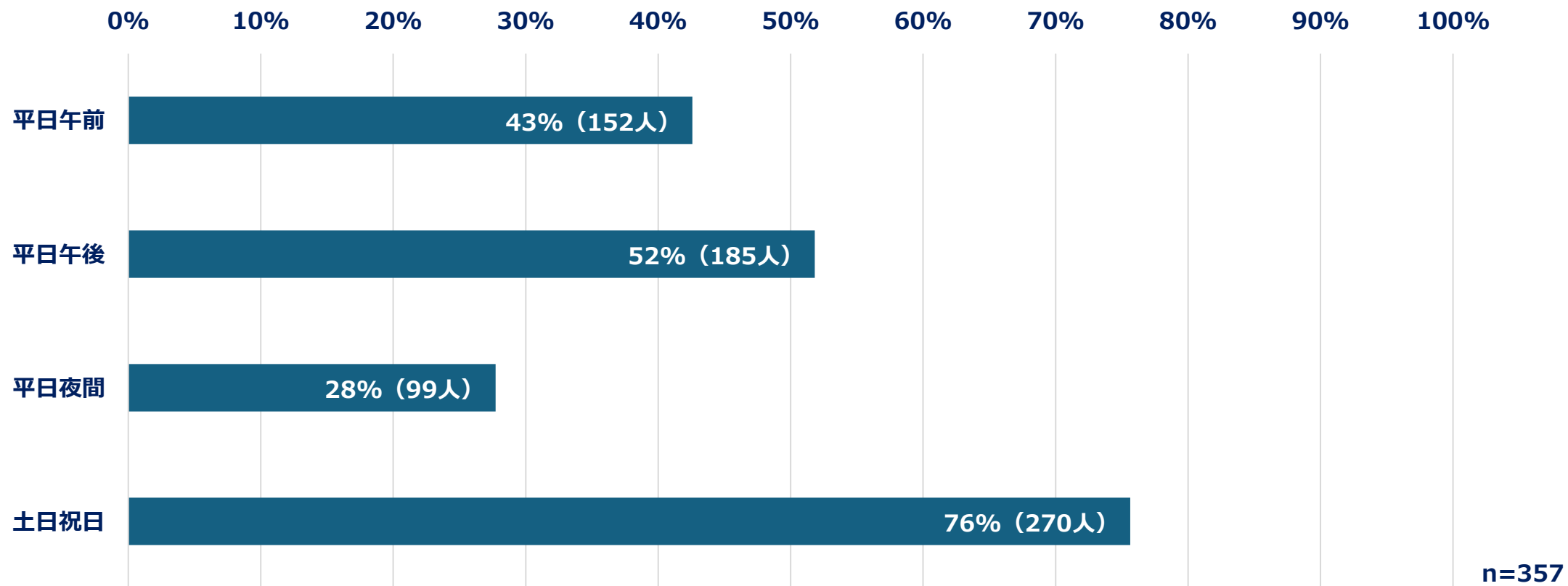
3-1. 複合施設にあったら良いと思う機能(複数選択可) : ⑤創業支援

- 「創業支援（コワーキングスペース・スタートアップカフェ、就労支援）」については、年代別にみると、10代以下の割合が最も多く、次いで20代、40代の順となっています。



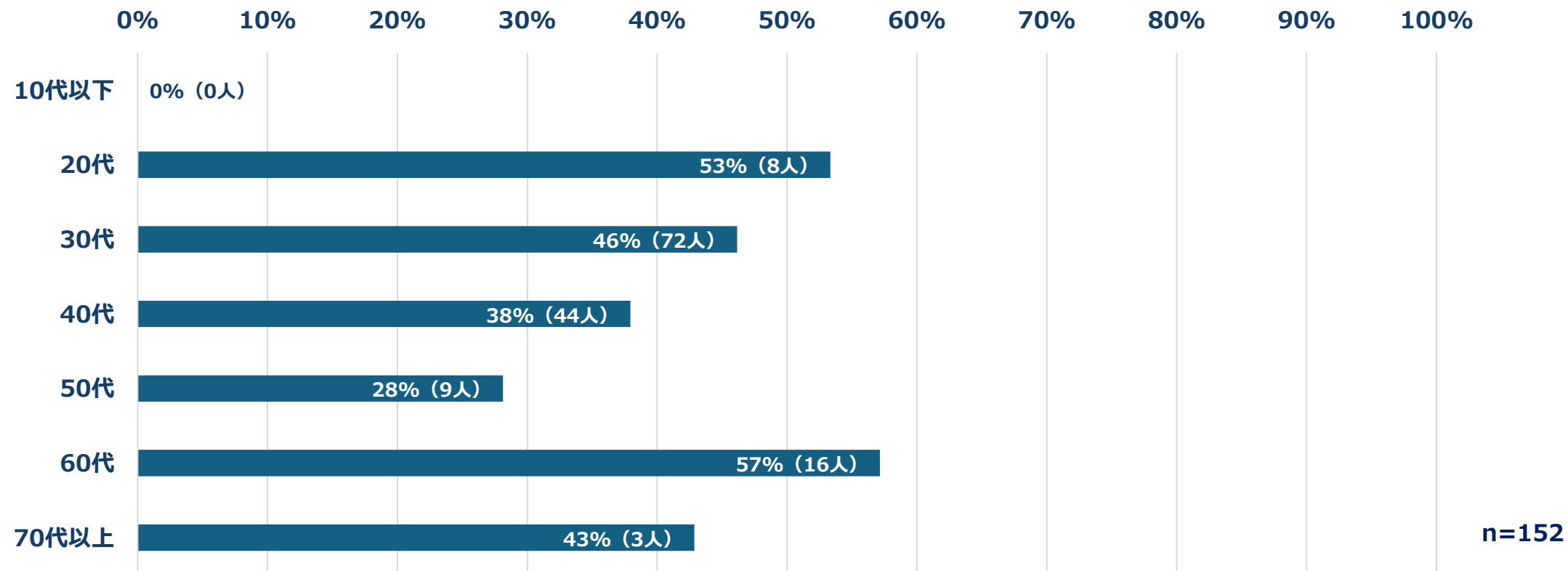
3-2. 利用したい時間帯（複数選択可）

- 利用したい時間帯別でみると、「土日祝日」の時間帯を利用したい人の割合が多くなっています。



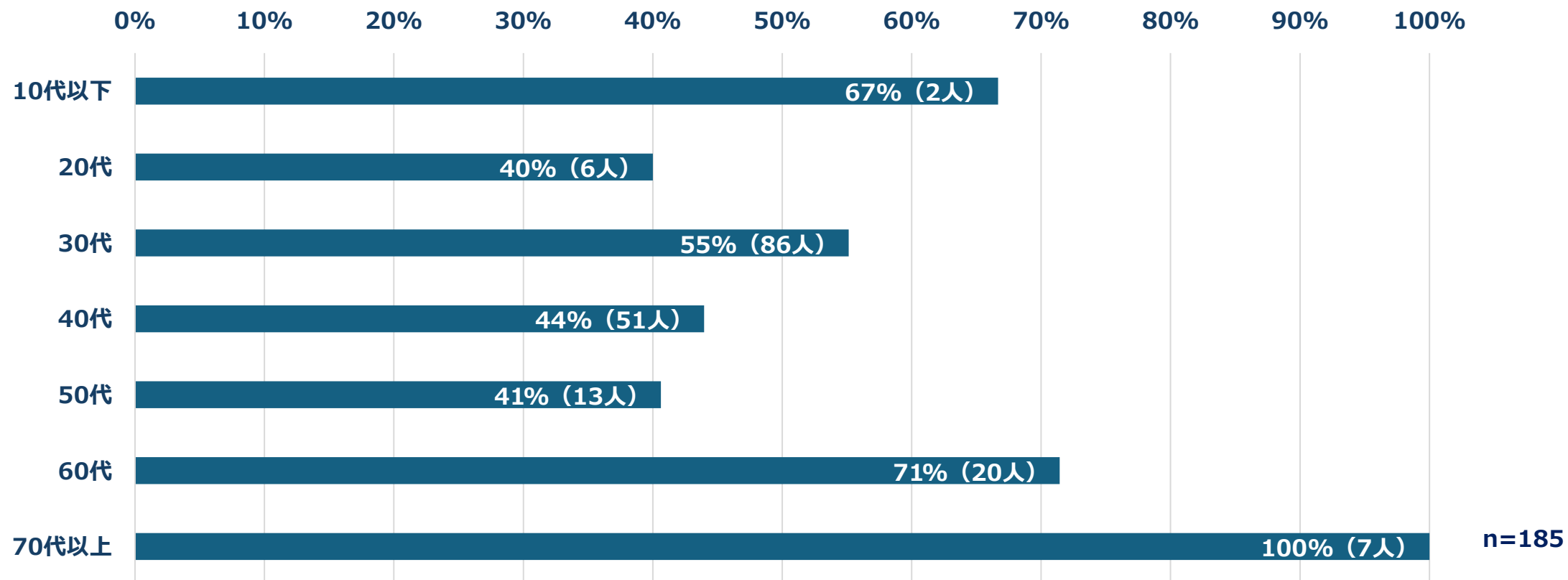
3-2.利用したい時間帯（複数選択可） ：①平日午前

- 「平日午前」については、年代別にみると、60代の割合が最も多く、次いで20代、30代の順となっています。



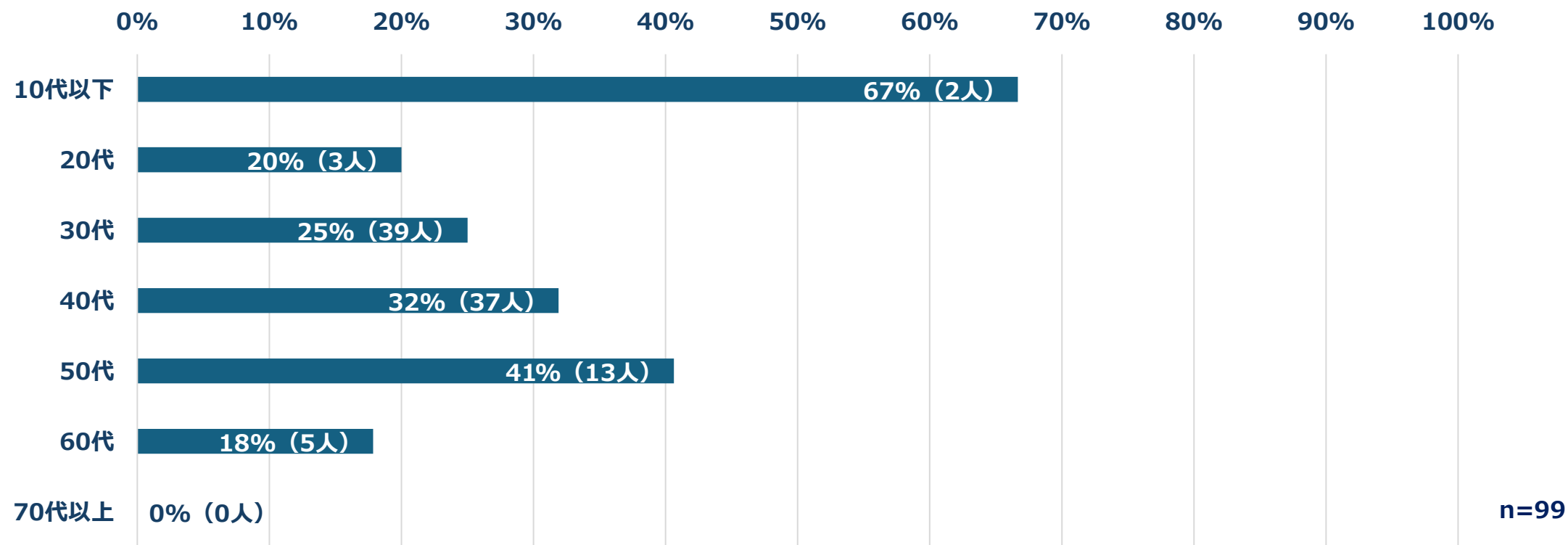
3-2.利用したい時間帯（複数選択可） ：②平日午後

- 「平日午後」については、年代別にみると、70代以上の割合が最も多く、次いで60代、10代以下の順となっています。



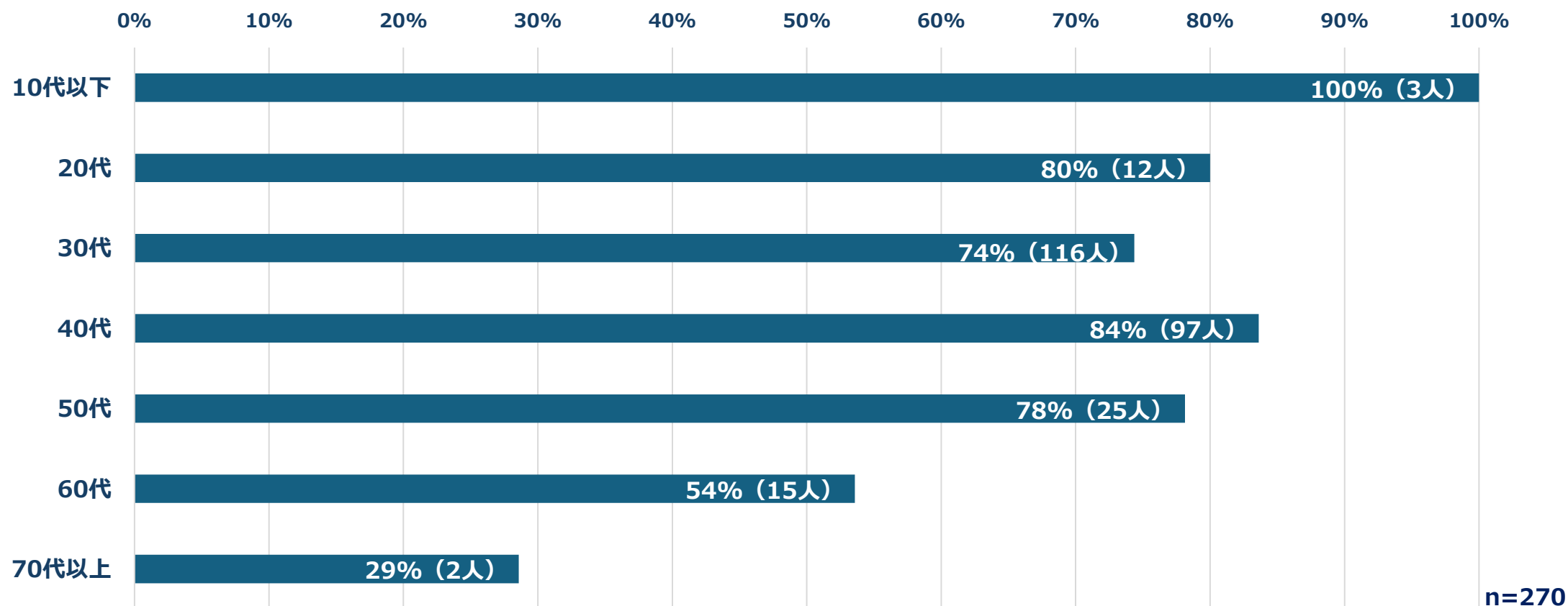
3-2.利用したい時間帯（複数選択可） ：③平日夜間

- 「平日夜間」については、年代別にみると、10代以下の割合が最も多く、次いで50代、40代の順となっています。



3-2.利用したい時間帯（複数選択可） ：④土日祝日

- 「土日祝日」については、年代別にみると、10代以下～50代の割合が多くなっています。



4.その他のご意見・ご要望



4.その他のご意見

4-1.印西牧の原駅周辺のまちづくりや施設整備に関する自由意見

4-2.別紙構想案に関する自由意見

- 自由意見では、子育て支援や多世代交流に関連する施設のご意見が多く寄せられました。

- ①子育て支援(保育、学童、親子交流等) : 40件
- ②こどもの遊び場 : 53件
- ③図書館 : 53件
- ④スポーツ施設(体育館、バスケットボールコート、ジム等) : 47件
- ⑤商業施設 : 47件
- ⑥カフェ : 44件(単独17件、併設27件)
- ⑦こども・若者の居場所(学習スペース含む) : 33件

◆主なご意見（1／3）

①子育て支援（保育、学童、親子交流等）

- “まさに子育て世代が格段に増えている今に欲しい施設としては、雨の日でも幼児が遊べる、広々とした施設があったらいいなと思います。”（30代）
- “複合施設内には、多目的室や子育て支援スペースを併設し、多世代交流を促進。住民の日常的な居場所と非日常の賑わいを創出し、地域文化の振興と都市ブランド力の向上に貢献できる施設となることを願います。”（40代）
- “気軽に子供と時間が潰せる場所があるとよい。天候気にせず楽しみたい。屋内遊具、屋内ランチスペース（弁当が食べれる）こういう場所はいくつあってもいいなと思う。”（40代）
- “午前中に子どもといつも気軽に行けてお昼ご飯を食べて遊んでから家に帰るみたいにママも子どもの憩いの場（コロナ前のように子育てルームでお昼を食べれるなど）”（30代）

②こどもの遊び場

- “未就学児と小学生と一緒に遊べる室内施設があると良いなと思います。”（30代）
- “全天候型のこどもの遊び場と同じような施設を牧の原にも整備してほしい。”（40代）
- “夏の数ヶ月間、子どもが外に出て遊ぶとすることができなくなった今、室内で運動ができる施設が複数できたらかなり需要があると思います。ただ広い場所で走り回るだけでも子どもは嬉しいものです。”（30代）

◆主なご意見（２／３）

③図書館

- “コワーキングスペース付きの図書館がほしいです。大人は仕事に、子どもは勉強に使えるような個別ブースがいいです。”（30代）
- “大人から子供まで一日中楽しめる大きな図書館を造って欲しい。できればcafe併設で”（40代）
- “大きな図書館が欲しい。印西の図書館はどこも小さいし、蔵書も古くて少ない。”（70代以上）

④スポーツ施設（体育館、バスケットボールコート、ジム等）

- “運動広場やバスケットコートが非常に少なく、週末は八千代市や佐倉市まで行かなければならないことが多い。”（30代）
- “市民が気軽に利用できる体育館施設がもっとあるとよいです。”（40代）
- “小学生高学年から中学生でも体を動かして遊べんような大型のアスレチック施設など、屋内外にあると良い。”（40代）

◆主なご意見（3／3）

⑤商業施設

- “印西牧の原駅周辺はとにかく飲食店が少ないので、スタートアップなどでもいいのでBIGHOPから駅間の施設見直し含めてもっと人で賑わうようにしてほしい。”（30代）
- “流山おおたかの森のように飲食やアパレルなど商業施設をもっと充実させてほしい。”（50代）

⑥カフェ

- “遊具の多い公園や子どもを連れて行きやすい飲食店、ママ友とランチできるカフェ、子どもを遊ばせておける施設ができると助かる”（30代以上）
- “カフェやその他商業施設などの誘致により活性化を図って欲しい。。”（60代）

⑦こども・若者の居場所（学習スペース含む）

- “無料で勉強できるスペースを増やして欲しい。”（10代）
- “未就学児や小学生の居場所(児童館や子ども食堂)が駅近くにあると助かります。”（30代以上）
- “小学生が放課後集まれる室内施設があったら助かります。”（40代）

市民意見募集のまとめ

◆市が構想案で示した導入機能(案)について

- 今回の市民意見募集では、9割を超える方々に、市が構想案で示した導入機能(案)をご選択いただきました。
- 導入機能(案)の子育て支援や多世代交流に関連する施設についてのご意見が多く寄せられました。
具体的には、小学生や中高生が放課後に安心して過ごせる居場所や、カフェが併設されたフリースペースなどが挙げられており、導入機能（案）に対するニーズが概ね高いことがわかりました。

◆導入機能(案)以外のその他機能について

- 上記以外の機能としては、スポーツ施設（体育館、トレーニングジム等）、温浴施設、公園、プールなどが挙げられています。

Ⅱ.対話会(ワークショップ)の 結果



実施概要

日時・場所	令和7年11月 2日(日)午前10時～12時 ふれあい文化館 令和7年11月24日(月)午前10時～12時 牧の原地域交流センター
告知方法	広報いんざい(11月号)、市HP、公式SNS(X、LINE)
対象	市内在住者
テーマ	「未来に向けた新しい公共の場」
目的	市民の皆さんと直接対話し、市民ニーズと市の複合施設構想案が一致しているかを確認し、より具体的な意見を取り入れるため。

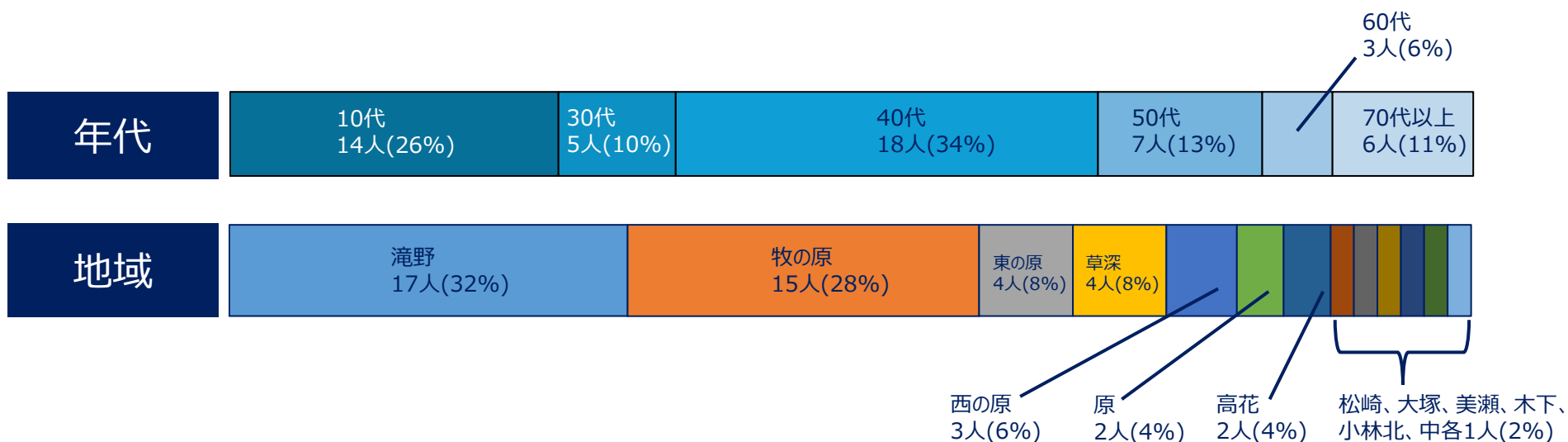


◆対話会にご参加いただいた方の属性

●印西牧の原駅圏にお住いの30代、40代の方に多くご参加いただきました。

- 年代別にみると、40代の割合が最も多く、次いで10代、50代の順となっています。
- 地域別にみると、滝野にお住まいの方の割合が最も多く、次いで牧の原、東の原、草深の順となっています。

参加者構成



テーマ：「未来に向けた新しい公共の場」

- 2日間の対話会では、ワークショップにより、約300件のご意見をいただきました。
- 市が構想案で示した導入機能(案)と同様のご意見も多く出されました。

◆ワークショップ：どんな施設なら行きたい？どう使ってみたい？ (機能、雰囲気、工夫、使い方など)

市が構想案で示した導入機能(案)

- ・ 子育て支援 [子育て世代が集う場]
- ・ 教育 [教育と親和性の高い施設、教育支援]
- ・ 多世代交流 [子育て世代からシニア世代までの世代間交流施設、
児童や若者を中心に幅広い年齢層が集う場]
- ・ にぎわいの創出 [コミュニティ活性化拠点]
- ・ 創業支援 [新たな産業創出の場]

※構想案などの詳細は市HPをご確認ください。 ⇒ <https://www.city.inzai.lg.jp/0000020584.html>



◆ワークショップで出された主なご意見

今後の公共施設について

- “入りやすい外観（入口が明るい、デザインが良い）”（10代）
- “何をしてるかわかる外観”（30、40代）
- “外から見て入りたくなる所”（30、40代）
- “雰囲気明るい所”（10代）
- “長い時間いても気がねなく居られる”（70代以上）
- “ルールが厳しくなく、友達とフラッと立ち寄れる施設”（10代）
- “本庁に行かなくても行政手続まで全て出来る施設”（60、70代以上）
- “夜おそくまで営業している施設”（10代）
- “用がなくても好きにすごせる”（70代以上）





子育て支援

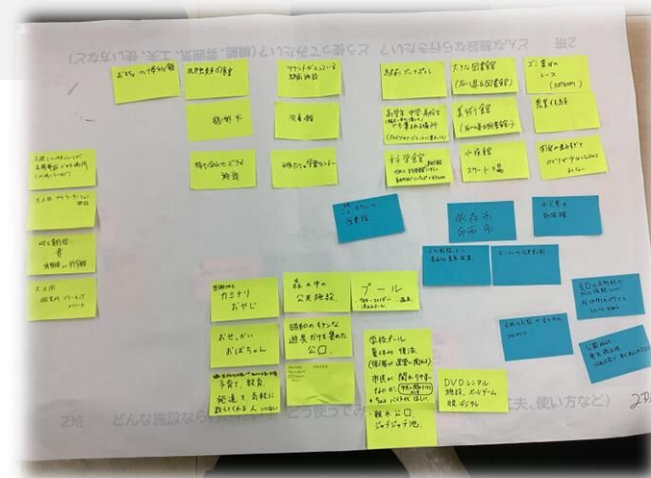
- “子と一緒に空間はありがたいが、本読むとき食るとき作業のときみってくれる人がいたら良い” (30、40代)
- “子どもたちと親世代がバラバラにならない雰囲気” (10代)
- “共ばたらき支援(→ほんとの子育て支援)。子育て、教育、発達を気軽に教えてくれる人いてほしい” (30、40代)
- “子どもが泣いても親がまわりを気にしない” (60、70代以上)
- “子ども見守りカフェ(子育て支援センターとレストランとのすき間)” (30、40代)

こどもの遊び場

- “外の天気に影響されない子ども達の遊び場” (30、40代)
- “屋外・屋内どちらもこどもが全力で遊べる場所が欲しい” (30、40代)
- “室内遊園地” (30、40代)
- “幼児が楽しめる部屋(図書館でもあるスペースで、声を出せる、走れるetc)” (30、40代)
- “小学生(0～未熟児含)の兄弟すごす遊び場。交流スペース(不登校児含む)。スタッフの配置必須” (30代)

教育

- “子どもたちの学習センター”（40代）
- “キッズニアのような職業体験できるような施設”（30、40代）
- “中学生、高校生が使える3Dプリンター、バンドスタジオ、ミシン、陶芸など。クラフト系。ミニバスケ、ボルダリングなどスポーツ系。”（50代）
- “学校の授業が退屈な子たちが、自分の興味のあることを学べる場所”（30、40代）
- “印西市に肢体不自由児対象の支援学校がほしい”（40代）
- “学びの場(学生と社会人の交流)”（30、40代）



多世代交流

- “年代に変わりなくコミュニケーション取れる場所”（70代以上）
- “小さい子どもと高齢者が関わる場所(親も楽になれる)”（50代）
- “色々な世代が「行きたくなる」がつまった施設”（10代）
- “いろいろな世代がふれあえる所。それでも勉強は集中できる自習スペースをつくる”（10代以下）



こどもの居場所

- “小・中学生が「自分」で行ける場所”（10代）
- “周りを気にせず使えるところ 勉強だとか”（10代）
- “居場所が無い子が安心していれる(17時以降も)”（30、40代）
- “夜まで開いている飲食できるスペース(小学生・中学生の居場所)”（30、40代）
- “こども(～18才くらい)が長期滞在できる場所(21時くらいまで)”（40代）
- “小中高校生が(楽しめる)ホットできる場所”（50代）

にぎわい創出(多目的、イベントスペース等)

- “みんなで使える広い空間、どんな年代でも使えるもの” (10代)
- “若者の活気がある場所” (40代)
- “地域の交流ができる場所(イベントが自由にできる。色々な使い方に対応できる。災害拠点に使える。)” (30、40代)
- “駅前、待ち合わせ憩いの広場、コミュニティカフェ” (50代)
- “地元の名産をみんなで考える場所がほしい” (30、40代)
- “教室を開けるスペース(ヨガ、クラフトetc)” (30、40代)
- “登録しなくても(又は簡単な登録で)使えるスペース” (50代)
- “有料のイベントダメなルールはやめてほしい” (30代)



創業支援

- “起業したいけど、場所がなかったり、経営の仕方が分からなかったりする人も多いと思うので、1ヶ所で学び⇒経営まで完結できる場所”（30、40代）
- “印西ママさんが気軽に起業できるスペース”（30、40代）
- “創業＋既存企業の発展(商工会との一体化)”（30、40代）
- “ワーキングスペース(Open/個室、仕事や勉強に使える、個室で会議もできる、21:00くらいまで使用できる、wifiが使える)”（30、40代）
- “大人用プチワーケーション施設”（40代）
- “シェアオフィス(単発でも使える、中高校生も使える)”（50代）
- “飲食できるコワーキングスペース”（50代）
- “24Hのワークスペース”（30、40代）



スポーツ

- “ものを全て貸してくれる(ラケットとか)体育館” (10代)
- “運動が苦手、スポーツギライの子供、大人を少なくしてカラダを動かすためのしさを伝える場所” (30、40代)
- “個人でも利用しやすいスポーツ施設” (40代)

公園

- “夏屋根がある、水遊びできる公園” (50代)
- “公園設備の充実化 カフェを含む ペットとの共存” (50代)

プール

- “プール(ウォータースライダー、温泉、流れるプール)” (40代)
- “学校プール夏休み復活(保護者が運営に関わる)” (40代)



歴史・文化・芸術

- “博物館や美術館、文化的な施設(恐竜館、虫館など)” (30、40代)
- “印西の歴史と今が学べる知ることができるスペース” (30、40代)
- “千葉ニュータウンの歴史館” (50代)
- “市民参加型アトスペース” (40代)



カフェ

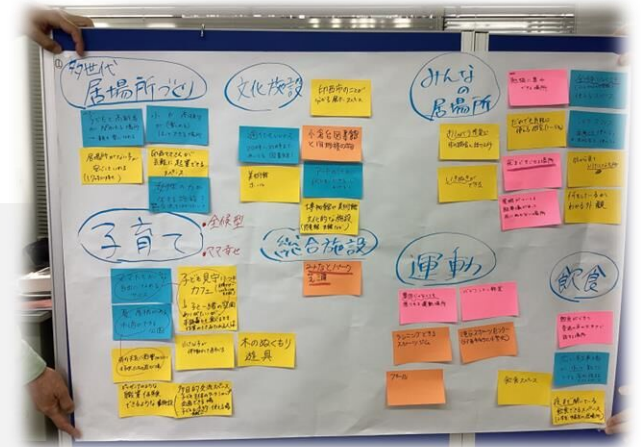
- “駅前でフラッと寄れるカフェスペース” (40代)
- “飲食+話せる場所 話しながら飲食okなことで長居やリラックスができる” (10代)

図書館

- “週 1 でもいいから、20時~22時まであいてる図書館” (50代)
- “多機能型図書館 静かにする学習スペース、さわいでもOK にぎわえるスペース、おしゃべり・飲食OK” (50代)
- “利用者が活動できる集会施設を備えた図書館(読書会、ミニ講座、ボランティアグループの相談、ビジネス相談など何でも)” (60代)

その他

- “大きな公園に併設した公共施設”（60、70代以上）
- “ネーミングライツでお金をもらって修繕にまわす”（30、40代）
- “女性の力が生きる施設(女性同士でもっと交流を図りたい)”（50代）
- “医療ケア児対応の放課後デイサービス、生活介護、グループホーム”（40代）
- “共生型施設(高齢者と障がい者が関われる場所)”（40代）
- “子どもが使える施設は増えたけど、犬が使える施設が少ない ドッグランとか、犬も入れるカフェとか”（30代）
- “使い方を民営基準にしてほしい(時間、費用)”（30、40代）
- “営利指導、教室へのハードルが高すぎる。もっと門戸を広げて頂きたい”（30、40代）
- “アルコール提供”（40代）
- “入浴施設”（70代以上）
- “市民向けサブスク施設 本・音楽・映像”（40代）
- “市民が自由に使えるレンタサイクルが欲しい(大人も子供も使える)”（50代）
- “海外との交流拠点・海外への発信拠点”（30、40代）
- “爬虫類の館 水族館 プラネタリウム”（40代）



対話会のまとめ

◆今後の公共施設に望むこと

- 公共施設に対する「ルールが厳しい」や「用事がないと行きにくい」というご意見を受け、利用制限緩和や施設の使いやすさなどの改善が必要であると認識しました。

入しやすい
外観

雰囲気
が良い

ルールが
厳しくない

◆どんな施設なら行きたい(機能)

- 市が構想案で示した導入機能(案)と同じ方向性の意見が多数出された一方で、導入機能(案)以外のスポーツ施設、公園やプールなどに関するご意見もいただきました。

市が構想案で示した 導入機能(案)

- 子育て支援
- 教育
- 多世代交流
- にぎわい創出
- 創業支援

導入機能(案)以外 のその他の機能

- スポーツ施設
- 公園
- プール
- 歴史・文化・芸術施設
- カフェ
- 図書館
- その他

Ⅲ.市民意見募集及び 対話会の結果(総括)

市民意見募集及び対話会のまとめ

● 市民意見募集

- ・ 市が構想案で示した導入機能(案)については、9割の方にご選択いただき、導入機能(案)に対するニーズが概ね高いことがわかりました。
- ・ 導入機能(案)以外のその他機能として、スポーツ施設や図書館などに関するご意見も寄せられました。

● 対話会

- ・ 公共施設のイメージについては、「ルールが厳しい」、「用事がないと行ってはいけない雰囲気がある」などのご意見が挙げられ、「利用制限の緩和や施設の使いやすさ」、「居心地の改善」の必要性を改めて認識しました。

● 今後の流れ

- ・ 今回の市民意見募集及び対話会でいただいたご意見をもとに、今後サウンディング型市場調査を実施します。
- ・ また、サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、最終的な施設整備の構想案を固めていく予定です。